

京都府「データ利活用型『スマートシティ京都』モデル構築事業」

総務省 データ利活用型スマートシティ推進事業

実施地域

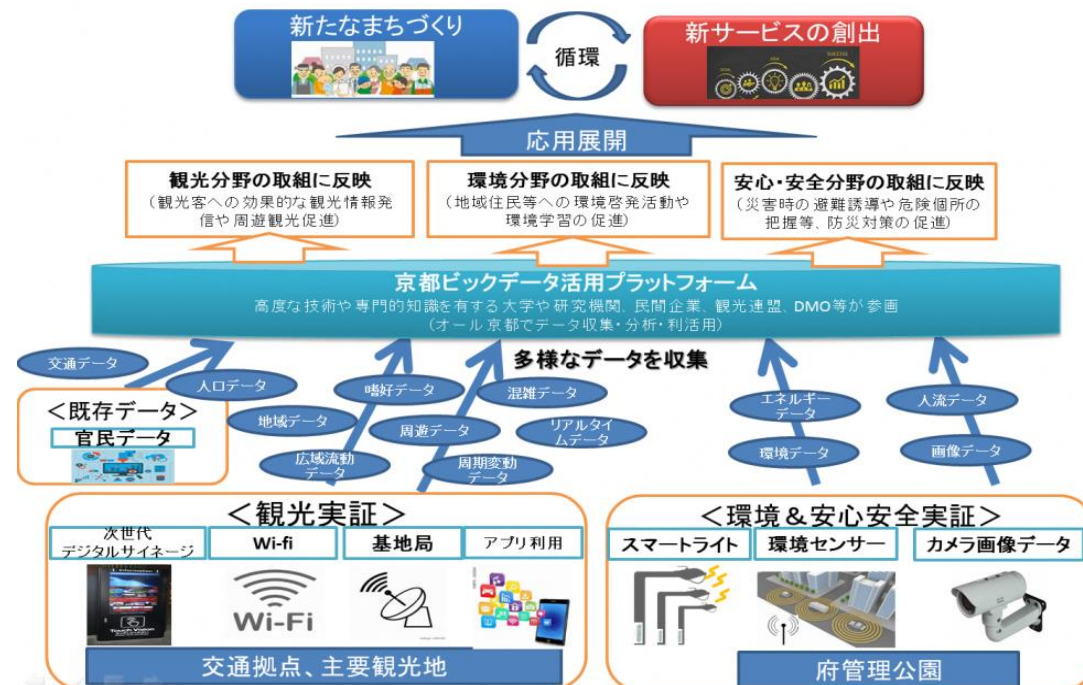
京都府全域、京都府精華町及び京都市嵐山地域

実施団体

一般社団法人 京都スマートシティ推進協議会

事業概要

京都府全域における次世代デジタルサイネージの設置やけいはんな記念公園等におけるスマートライト、環境センサーの設置により、人流データ、嗜好データや環境データ等を収集するとともに、高度な技術や専門的知識を有する大学や研究機関、先進企業、観光連盟、DMO、行政等が参画する「京都ビックデータ活用プラットフォーム」を構築し、これらの実証データと京都府の有するデータや基地局データ等の官民データを複合的に分析し「観光」「環境」「安心・安全分野」における課題解決を図り、データ利活用によるスマートシティづくりに繋げる。



<京都ビックデータ活用プラットフォーム>

【構成】

(一社)京都スマートシティ推進協議会を中核とし、高度な技術や専門的知識を有する大学や研究機関、企業、観光連盟、DMO、行政が参画する多様なプラットフォームを構築

【取組】

京都の強みである観光分野・環境分野を軸に、最先端のデジタルサイネージやスマートフォン等のアプリケーション・コンテンツ、スマートライト等のアプリケーション・コンテンツ、スマートライト等からデータを取得するとともに、行政や企業保有の既存データと結合し、総合的にデータ分析することで、新たな課題解決プロセスの構築と新サービスの創出に繋げる